

# ホームロイヤー制度設立記念講演会



# 大丈夫

おひとりさまでも



兵庫県弁護士会  
イメージキャラクター  
ヒマリオン  
Since2001

2021年  
**9/11** 土  
13:00~15:30

**参加費無料**

※Zoomによる参加にあたり、使用する機器やインターネット接続にかかる費用は参加者においてご負担ください。



**講師 上野千鶴子氏**

社会学者・東京大学名誉教授  
認定NPO法人  
ウイメンズアクションネットワーク  
(WAN) 理事長

※オンライン中継での講演となります。

**開催方法**

会場参加及び  
オンライン参加(Zoom)  
(定員:会場50名、オンライン1,000名)

**申込方法**



◀このQRコードより  
お申し込みください。

**会場**

兵庫県弁護士会館  
4階講堂 神戸市中央区橋通1-4-3  
※ご来場は公共交通機関をご利用ください。



**プログラム予定**

講演「おひとりさまでも大丈夫  
～ホームロイヤー制度の必要性」

東京大学名誉教授 上野千鶴子 氏

体験発表「任意後見を締結した理由」

元朝日新聞社論説委員 川名紀美 氏

パネルディスカッション

「ホームロイヤー制度の必要性」

兵庫県弁護士会の

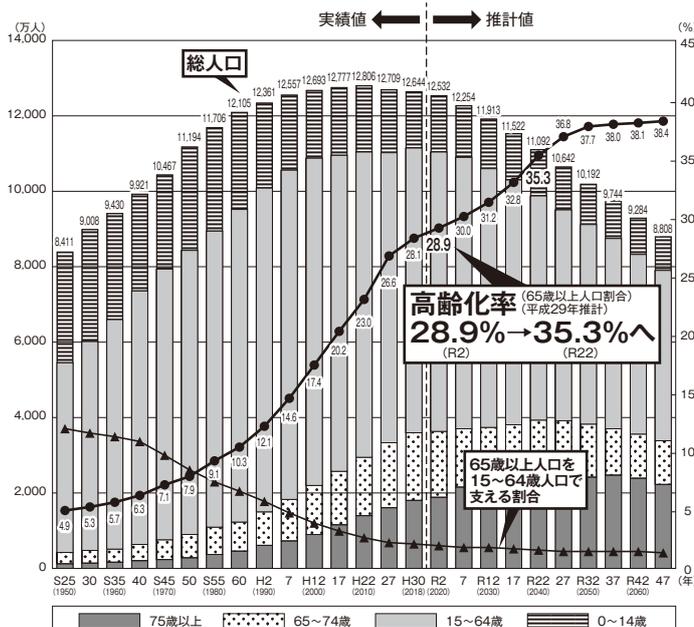
ホームロイヤー制度の紹介

子供がいらない、あるいはいても頼りたくないという高齢者が増えています。他方、そのような高齢者の判断能力の低下を狙った財産搾取事件も増えています。認知症などの発症により判断能力が徐々に低下する人や脳梗塞などで突然判断能力が低下する人がいる一方、ガンなどの病気で判断能力は衰えないものの体が自由に動かないなど、人生最終章の状況は様々です。そのような状態になれば、自分のために必要なお金を使うことも財産管理もできなくなります。また、亡くなった後のことは自分ではどうしようもありません。

そのような時に力になるのが、本人に代わって財産管理をし、身の回りのことに配慮する任意後見人です。ご希望に応じて、元気なうちからホームロイヤー契約(見守り契約)を締結してご本人を見守り、判断能力が低下した後は任意後見人として活動します。死亡後は、死後の事務を引き受け、ご希望があれば遺言執行(=遺言書の内容を実行する)を担当することも可能です。

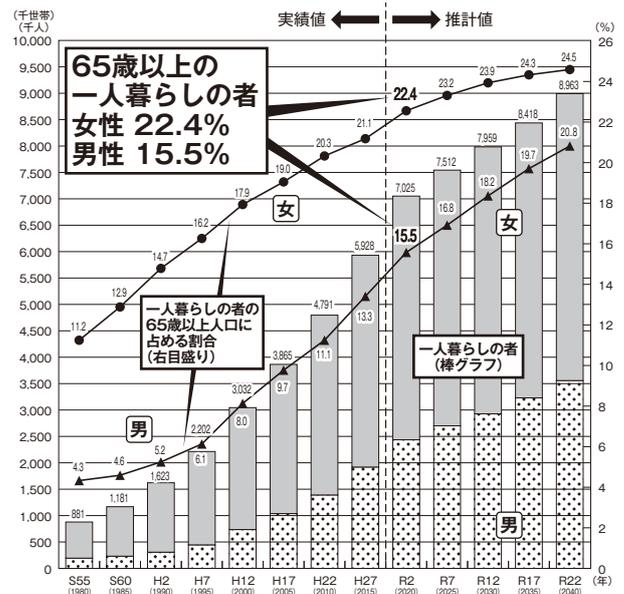
今回、兵庫県弁護士会では、ご本人の希望に応じた対応を行うことを可能とするホームロイヤー事業を開始しました。本セミナーは、その必要性和ホームロイヤー事業の概要について広く知っていただくことを目的としています。

## 資料 高齢化の推移と将来推計



資料：棒グラフと実線の高齢化率については、2015年までは総務省「国勢調査」、2018年は総務省「人口推計」(平成30年10月1日確定値)、2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29年推計)」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果

## 資料 65歳以上の一人暮らしの者の動向



資料：平成27年までは総務省「国勢調査」による人数、平成32年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計(全国推計)2018(平成30年推計)」による世帯数

# 上野千鶴子氏 プロフィール

社会学者・東京大学名誉教授・認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク(WAN)理事長

富山県生まれ。京都大学大学院社会学博士課程修了。社会学博士。平安女学院短期大学助教授、シカゴ大学人類学部客員研究員、京都精華大学助教授、国際日本文化研究センター客員助教授、ボン大学客員教授、コロンビア大学客員教授、メキシコ大学院大学客員教授等を経る。1993年東京大学文学部助教授(社会学)、1995年から2011年3月まで、東京大学大学院人文社会系研究科教授。2012年度から2016年度まで、立命館大学特別招聘教授。2011年4月から認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク(WAN)理事長。第20-22期学術会議会員。第25期日本学術会議連携会員。

専門は女性学、ジェンダー研究。この分野のバイオニアであり、高齢者の介護とケアも研究テーマとしている。

1994年『近代家族の成立と終焉』(岩波書店)でサントリー学芸賞受賞。

2011年度、「朝日賞」受賞。受賞理由「女性学・フェミニズムとケア問題の研究と実践」

2019年、フィンランド共和国からHän Honours受賞(長年の男女平等への貢献に対する感謝状)

2020年、「アメリカ芸術科学アカデミー会員」に選出される。

『上野千鶴子が文学を社会学する』(朝日新聞社)、『差異の政治学』、『生き延びるための思想』(岩波書店)、『当事者主権』(中西正司と共著、岩波新書)、『二一ノズ中心の福祉社会へ』(中西正司と共編、医学書院)、『岩波シリーズ ケア その思想と実践』(共編著、全6巻、岩波書店)、『世代間連帯』(辻元清美と共著、岩波新書)、『家族を容れるハコ 家族を超えるハコ』(平凡社)、『老いる準備』(学陽書房)、『おひとりさまの老後』、『男おひとりさま道』(法研)、『ひとりの午後に』(NHK出版)、『女ざらい』(紀伊國屋書店)、『女は後半からがおもしろい』(坂東眞理子と共著、潮出版)、『結婚帝国』(信田さよ子と共著、河出書房)、『不惑のフェミニズム』(岩波現代文庫)、『ケアの社会学』(太田出版)、『鼎談「フェミニズムの時代を生きて」』(岩波現代文庫)、『現代思想 総特集 上野千鶴子』(青土社)、『DVDブック「生き延びるための思想」(講談社)、『ナショナリズムとジェンダー』(岩波現代文庫)、『生き延びるための思想』(岩波現代文庫)、『快楽上等』(幻冬舎)、『みんな「おひとりさま」』(青灯社)、『上野千鶴子が聞く 小笠原先生、ひとりで家で死ぬますか?』(朝日新聞出版)、『身の下相談にお答えします』(朝日新聞出版)、『「おんなの思想」私たちはあなたを忘れない』(集英社インターナショナル)、『わたしのサバイバル作戦』(文藝春秋社)、『ニッポンが変わる、女が変わる』(中央公論新社)、『上野千鶴子の選憲論』(集英社新書)、『何を怖れる』(岩波書店・共著)、『老い方上手』(共著・WAVE出版)、『ケアのカリスマたち 看取りを支えるプロフェッショナル』(亜紀書房)、『対談集「思想をかたちにする」』『セクシュアリティをこぼにする』(いずれも青土社)、『非婚ですが、それが何か?』(対談集・ビジネス社)、『おひとりさまの最期』(朝日新聞出版)、『上野千鶴子のサバイバル語録』(文藝春秋社)、『時局発言!』(WAVE出版)、『また 身の下相談にお答えします』(朝日新聞出版)、『世代の痛み 団塊ジュニアから団塊への質問状』(中公新書ラクレ)、『おひとりさまVSとりの哲学』(朝日新書)、『戦争と性暴力の比較史へ向けて』(編著・岩波書店)、『情報生産者になる』(筑摩書房)、『女ざらい ニッポンのミソジニー』(朝日新聞出版・文庫)、『上野先生、フェミニズムについてゼロから教えてください!』(大和書房)、『近代家族の成立と終焉 新版』(岩波書店)など著書多数。最新刊に『人生のやめどき』(樋口恵子と共著、マガジンハウス)がある。

WAN URL <http://wan.or.jp/>